



飯岡メロンの歴史を継ぐ ネクストジェネレーション

宮内農園(上永井)

宮内 ゆうや 勇弥さん(36歳)

飯岡メロン部会は、昭和54年に飯岡の生産者13人がメロン栽培を始めた際に、飯岡町農協園芸部メロン支部として設立しました。いち早くタカミメロンの栽培に取り組み日本で最初に産地化され、独自の栽培基準と厳しい検査で飯岡メロンのブランドを全国に広める生産者団体です。

——どんな仕事をしていますか

祖父、父、母、妻と5人での農業経営で、メロンを中心に、キャベツやリーフレタスなどを生産しています。メロンはビニールのトンネルに苗を植え付けて育てています。よい作物を作るには温度と湿度の管理がとても大切で、トンネル内を換気するため、広い畑で1日に何度もビニールの開閉をします。6・7月の収穫時期には、収穫したメロンをきれ

JAちばみどり
飯岡メロン部会

所在地／旭市横根3488-2
電話番号／57-3001

いに洗浄し、等級ごとに箱詰めして出荷します。みずみずしくずっしりと重いメロンを運ぶので、体力も必要です。

——農家になろうと思ったきっかけは

18代続く農家の長男に生まれて、幼い頃から祖父や父の働く姿を見て育ち、自然と農作業を手伝うようになりました。家業を継ぎたいという思いから、農業大学校で学び就農しました。最近では、小学生になった子どもたちが農作業を手伝ってくれます。私の働く姿を見て、いつか子どもたちが「受け継ぎたい」と思ってくれたらうれしいです。

——今後の抱負は

飯岡メロンのブランド力を高めて、我が子のように大切に育てたおいしいメロンを日本全国に届けます。また、おじいちゃんになっても農業を続けられる強い体をつくり、生涯現役で飯岡メロンの生産を続けたいと思います。



広い畑で収穫



収穫したメロンの箱詰め